

ベルギー王立美術館

初の日本人公認解説者・美術史家

森 耕治 氏 美術史 講演

日本・ベルギー友好150周年記念事業 後援 ベルギー大使館

ルーヴル美術館 作品集

2016年

4月22日 [金]

18:30開演 18:00開場
20:30終了

JR岐阜駅となり 岐阜市文化産業交流センター

じゅうろくプラザ

〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11 電話：058-262-0150

5階 小会議室 1



講演会開始前に講師との懇親会を
1階のカフェ・レストラン「ラ・ローズ・プロバンス」
で行います。お時間に余裕のある方はぜひご参加ください。
(懇親会費用は各自実費)

ルーヴル美術館所蔵 レオナルド・ダ・ヴィンチ作「聖アンナと聖母子」

事前申込み制

参加費 3,000円

定員 60名

森耕治氏による **愛と希望** をもたらす欧州美術史をお届けします。

日本・ベルギー友好150周年記念事業 後援:ベルギー大使館 岐阜県 岐阜市 岐阜市教育委員会



参加申込み・問合せ・主催 TEL:070-5030-7009 FAX: 058-262-2123
Email: t-sakaki@poohmie.jp 西洋美術を愛する岐阜の会 担当 榎原



Collection du Louvre

ベルギー王立美術館で初の日本人公認解説者に任命された美術史家・森耕治氏による、



をもたらす美術史をお届けします～

念願がかなって、岐阜市で最初の、だれにでもわかる美術史講演会を開きます。

テーマは「ルーヴル美術館名作集」です。学生時代から通い詰めたルーヴルの名作の秘密を語ります。

【森 耕治】 もり こうじ

京都出身。美術史家。マグリット美術館が併設されているベルギー王立美術館公認解説者。ポール・デルボー美術館公認解説者。

5歳のときから油絵を学び、11歳のときに京都の洋画家 川端紘一画伯に師事。ソルボンヌ、ルーブル学院、パリ骨董学校等に学び、2009年にベルギー王立美術館より、ヨーロッパの国立美術館では初の日本人公認解説者として任命される。2010年より、ポール・デルボー美術館の公認解説者も兼任。美術愛好団体「絵画の会」の常任講師。

ベルギー国営放送、雑誌「ゆうゆう」、NHK「迷宮美術館」ルーベンス特集、日経新聞日曜版等で活躍が紹介される。

美術館での活動以外に、毎年10回以上の講演会をこなす一方で、フランダース絵画から、シュール・レアリスム、まで広範囲な分野の作品解説を執筆中。

2013年よりFacebookの公開ページ「欧州美術史講座」を主催。週2回のペースで論文を発表し、月間約50,000回のアクセスを維持している。

2014年5月ベルギーを公式訪問中の安倍総理夫人にベルギー王立美術館を代表して所蔵作品の解説を行った。12月には、日本人として初めて南イタリアのバエステウム国立考古学博物館に招待されてドカについて仏語講演を行った。

2015年6月、在ベルギー日本大使館の文化センター開館に際しオープニングを担当して、ソプラノ歌手新保由紀子とギュスターブ・モローの講演コンサートを日本大使ご列席の下で成功させた。

2016年1月在ベルギー日本大使館で、日本・ベルギー友好150周年記念の講演会コンサート「ルーベンス、戦う画家から愛の画家へ」を大使館と共催した。

<著書>ベルギー王立美術館公式日本語解説書「ベルギー王立美術館、古典美術館名作ガイド」2013年

「誰も知らなかったマグリット」インスピレーション出版/マール社2012年

「ゴッホ、最後の71日間」電子出版2014年5月

「巨匠の名画に隠された暗号」私費出版2015年11月(300部を2か月で完売)

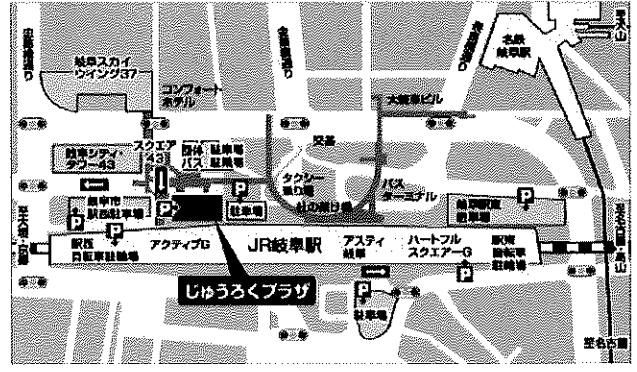
「フェルメール、無言の叫び」私費出版2016年2月



ベルギー王立美術館を安倍昭恵総理夫人に案内する森耕治氏（外務省HPより）



【会場】じゅうろくプラザ



交通のご案内

森 耕治氏講演参加申込書

(お申込みは、本申込書を担当者に持参するか FAX058-262-2123 送付か、必要事項を記載してEmail t-sakaki@poohmie.jp までお願いします。)

- ① 住所 〒
- ② お名前
- ③ 電話番号 (携帯等)
- ④ e-mail
- ⑤ 午後5時からの懇親会にも 参加します。(懇親会参加の方はレ点をいれてください。)